

※この資料に音声は
入っていません。

「お茶」の はなし





^{なつ} ^{ちか}
「夏も 近づく

^{はちじゅうはちや} ^{はじ}
八十八夜～♪」で始まる

^{ちゃ} ^{うた}
『茶つみ』という歌を

^し
知っていますか？

^{かんれん} ^{ねんせい} ^{おんがく}
関連：3年生 音楽

りっしゅん がつよっか かぞ はちじゅうはちにちめ がつ
立春(2月4日)から数えて八十八日目(5月

ふつかごろ ごろ つ ちゃ しんちゃ
2日頃)頃に摘まれたお茶は「新茶」とよばれ、

の ながい
飲むと長生きできるといわれています。

み え け ん ちゃ せいさんりょう
三重県はお茶の生産量

ぜんこくだい い
全国第3位！

い が し
伊賀市でもおいしい

ちゃ つく
お茶を作っています。

い が し あさばん さむ
伊賀市は、朝晩が寒く、

ひるま あたた おお
昼間は暖かいことが多い、

かんだんさ
この寒暖差で、おいしい

ちゃ
お茶ができるといわれています。



きょう いがし つく
今日は伊賀市で作られた

まっちゃ つか
「抹茶」を使った、

まっちゃあじ あ
抹茶味の揚げパンです。



まっちゃ つよ ひ ぎ あ
抹茶は、強い日差しが当たら
ないように^{そだ}育てた^{ちゃば}茶葉を^{こな}粉に
したものです。

つうじょう ちゃば み
通常の茶葉よりも、うま味があり
ます。また、^{ろうりよく}労力がかかる^{ぶん}分、
^{こうか}高価になります。

い が し つく
伊賀市で作られた
ま っ ち ゃ あ じ
「抹茶」を味わって
いただきますしょう。



おわり